札幌市
11月号
緑のセンターだより

No.332　令和８年11月１日発行　　発行元：（公財）札幌市公園緑化協会　豊平公園緑のセンター

ホトトギス

ユリ科　ホトトギス属　　*Tricyrtis hirta*

別名：杜鵑草・時鳥草・油点草



ホトトギスはユリ科ホトトギス属の植物で、東アジアからインドにかけて約20種が知られており、そのうち12種が日本に分布しています。ホトトギスの仲間は花形に２つの型があり、盃型で上向きに咲き、花柱の枝が傘のように広がって雄しべの上にかぶさるホトトギス型と、鐘形で下向きに咲き、花柱の枝が短いジョウロウ（上臈）ホトトギス型に大別されます。ジョウロウホトトギス（*Tricyrtis macrantha*）のジョウロウとは下向きに咲く優雅な花を上臈（宮中に奉仕する貴婦人）に例えたものといわれています。

ホトトギスは、北海道南西部・本州（関東地方以西・福井県以南）・四国・九州に広く分布します。短い根茎で、山地の半日陰地に生える多年草です。茎は立つか、崖から下がり、長さ 40～80cm、褐色の毛が斜め上向きに密生しています。葉は互生して、左右に並び、長楕円形状披針形で長さ 8～20cm、基部が茎を抱き、表裏に軟毛があります。開花期は９～10 月で、葉腋に２～３個の花がつき、花被片は斜め上向きに開きます。花柄と外側に白毛があり、内面には紅白地に紫紅色の斑点があり、下部に黄色の斑点がみられます。花糸は無毛で紫点があり、６本の花糸はよりそって束状に立ち、おのおの上部で外反して開き、先端に葯を丁字につけます。花柱分枝に球状の突起があります。

花被に斑点のほとんどないものをシロホトトギス（var.*albescens*）といいます。また、茎や葉に毛のないものをサツマホトトギス（var.*masamunei*）といい、九州に産します。



シロホトトギス



ジョウロウホトトギス

鳥のホトトギス（杜鵑・時鳥）は夏の季語であるのに対し、植物のホトトギスは秋の季語であり、「杜鵑草」「時鳥草」「油点草」とも表記されます。由来は、花に見られる紫色の斑点をホトトギスの胸腹の斑点に見立てて「杜鵑草」「時鳥草」の名前があり、葉の表面に黒い油のしみに似た丸い斑があることから「油点草」と書きホトトギスと読ませることもあります。

参考文献：「園芸植物大事典」小学館、「日本の野生植物」平凡社、
「合本 俳句歳時記」角川学芸出版　ほか

豊平公園 HP

開花情報及びイベント情報については豊平公園ホームページに掲載のセンターだよりをご覧ください。

11月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付　10:00～12:00　13:00～16:00

☆豊平公園　　811-9370　月曜以外毎日（月祝日の場合は、翌平日が休み）
☆百合が原公園　772-3511　　（冬期間なし）
☆平岡樹芸センター　883-2891（冬期間なし）

		作業時期 上旬	作業時期 中旬	作業時期 下旬	作業内容
屋外園芸	庭木	剪定・冬囲い			モミジの剪定は11月中旬まで。高木（イチイ・マツ類）は雪吊り、低木は雪折れ防止の冬囲い。冬囲いの防風ネット・コモ等の合わせ面は南側にしておくと良い。
	果樹	剪定・冬囲い			ブドウ・キウイは落葉後に剪定。低木果樹は雪折れ防止の冬囲い。
	花木	剪定・冬囲い			バラは冬囲いのできる高さに剪定。フジ･ボタン･ボケなどは花芽が残るように剪定。 耐寒性が強くない花木（ボタン・サツキ・ヒノデツツジ等）はコモ掛けも行う。
	野菜	菜園片付け			野菜の茎葉残滓と手竹等の清掃・整理。
		来年準備			来春への準備。堆肥散布・剣先スコップ等で耕起反転。
	花壇	球根植え			植え遅れたチューリップ・スイセン等の植え付け。
		植替え			ユリの球根は２～３年毎に植替え（中旬くらいまで）。
	芝生	清掃			芝生の上に落ちた枯葉やゴミの清掃。
			防除		根雪前に殺菌剤を散布し、雪腐れ病防除。
室内園芸	鉢花	置き場所			窓際の明るい場所で管理。窓からの冷気に注意。
		温度管理			シクラメンの温度管理に注意する。日中20℃前後、夜間12～15℃程度。
		短日処理			12月の開花に向け、ポインセチアの短日処理を継続。
	洋ラン	置き場所			シンビジウムは10～20℃の明るい室内で管理し、基本５℃以上を保つ。
		病害虫			アブラムシ、カイガラムシなど害虫に注意。
	多肉植物 サボテン	管　理			多肉植物・サボテン冬型種以外は休眠期。休眠期のサボテンは断水。乾き具合時々確認。
		短日処理			シャコバサボテン・カランコエは短日処理の継続。
	観葉植物	整枝・剪定			伸びすぎた枝・ツルを適当な長さに剪定。
		繁　殖			剪定枝を利用した挿し木（適期では無いが可能）。

園芸Q&A

Q　ブドウを来春植えようと思っています。品種は黒ブドウのキャンベルアーリーと粒の大きい巨峰かシャインマスカットのどちらか1本、あわせて2本です。栽培するにあたって注意する点や、特に剪定方法に違いがあれば教えてください。

A **①冬の寒さ対策**：キャンベルアーリーなど札幌で古くから栽培されている中粒品種は耐寒性があり、特別な防寒をしなくても札幌の露地で冬を越せます。しかし、大粒種の巨峰などは耐寒性が劣るため、そのままでは冬の寒さで枝が枯れることがあります。落葉後、枝を棚から外して地面に寝かせるか、もしくは、しっかりとむしろや不織布等で枝を保護することが必要です。

②新梢につける果房数：ブドウは、５月中旬に新梢が伸び、その付け根から２～４枚目の葉の基部に１番目の花房を着けます。続いて５枚目の葉に２番目、同じように３番目の花房が着きます。通常、１つの新梢に２～３花房が着き、大粒種の場合、１つの新梢に１花房を残し、残りを摘房します。中粒種では１～２花房を残します。

③着果量（摘房・１房の着粒数）：札幌は本州に比べると夏が短く秋の訪れが早いことから、果実を十分に成熟させる温度が足りないため、大粒の巨峰は 10 月の収穫期になってもスーパーで売っているような黒々とした果実にはならず、その色は赤褐色で甘味ののらないことが多いようです。このため、大粒種は適正な摘房と摘粒が必要です。大粒種は棚面積 3.3 ㎡当たり８～10 房、中粒種は 12～15 房程度に房数を抑え、かつ、大粒種は、１房に 35～40 粒程度に摘粒（粒数を制限）します。

④剪定方法：剪定時期は落葉後の 11 月中旬～積雪前が最適期で、防寒対策も併せて行ってください。ブドウは品種によって「どの位置に良い花芽（房）が着くか」は異なります。キャンベルアーリーなど中粒種は枝の付け根（基部）に良い芽が着くので、１～３芽を残し（短枝剪定）、大粒種は４～６芽以降に良い芽が着くので５～８芽を残します（長枝剪定）。

甘くて美味しいブドウを作るには、特に巨峰など大粒種は、防寒対策、摘房・摘粒、剪定、これらを適切に行うことによって、スーパーで売っているような甘くて美味しいブドウに近づけます。

展示会情報

豊平公園

秋の洋ラン展
11/10（火）～11/15（日）
最終日16：00まで

シクラメン展
11/25（水）～11/29（日）

クリスマス展
12/1（火）～12/25（金）



百合が原公園

秋のサルビア展～鮮やかな秋の装い～
開催中～11/1（日）

クリスマスディスプレイ展
～野を染め、紡ぐ、巡る季節の贈りもの～
11/10（火）～12/13（日）

シモバシラという名の植物





シモバシラの花（10月）

11月下旬頃、野草園では多年草のシモバシラの株元に霜柱を見ることができるおもしろい現象が起こります。この現象が見られる条件は、初冬、晴天の早朝、気温-1℃～-3℃、積雪がなく地面が乾燥した状態であることです。昨年は11月末～12月頭に見られました。条件がそろう朝を狙って、豊平公園の野草園で「シモバシラ」を確かめてみてはいかがでしょう。

豊平公園

〒062-0905
豊平区豊平５条１３丁目
TEL 011-811-6568

地下鉄東豊線
「豊平公園」駅下車
1番出口徒歩1分

クリスマスディスプレイ展
～野を染め、紡ぐ、巡る季節の贈りもの～



あたたかな色彩溢れる紅葉の季節から、白い雪が舞い始める冬の入り口。百合が原緑のセンターでは、一足早くクリスマス気分を楽しめる「クリスマスディスプレイ展」を開催します。今年は「自然の恵みを手しごとに草木にふれる心地よさを届けたい」と、草木染め、樹皮編み、針しごとなど、自然素材を生かしたものづくりを行う3人組ユニット「ヤマノチクマ」のクリスマスリース、草木染め小物、羊毛小物、樹皮編み小物、キャンドルなどが展示販売されます。また、大温室では早咲きのツバキやサザンカに加え、柑橘系の植物たちも色づき始めます。秋から冬へと移りゆく季節を百合が原公園でお楽しみください。

※「世界の庭園」無料開放は
11月3日（火祝）まで

百合が原公園

〒002-8082
北区百合が原公園210
TEL 011-772-3511

JR学園都市線
「百合が原」駅下車
徒歩7～10分

11月15日まで開園



11月に入り樹芸センターの紅葉はいっそう鮮やかさを増していきます。ノムラモミジ並木や日本庭園の紅葉をお楽しみください。また、紅葉シーズン中は売店でお菓子、漬物や移動販売車による軽食の販売もあります。

平岡樹芸センター
（みどりーむ）

〒004-0874
清田区平岡４条３丁目
TEL 011-883-2891

地下鉄東西線
「大谷地駅」から
中央バス（大69）
「平岡４条２丁目」下車
徒歩１分

イベント情報（11・12月）

豊平公園緑のセンター

☎（011）811-6568
https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/

【園芸教室・クラフト講習会】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
洋ランの冬の管理	11月14日(土)	13:30～	500円	20名	受付中
シクラメン他冬の鉢花の室内管理	11月21日(土)	13:30～	500円	20名	11/11(水)～
【植物クラフト】 クリスマスラインリース	11月23日（月祝）	10:00～	5,000円	15名	11/11(水)～
【植物クラフト】 クリスマスラインリース	11月23日（月祝）	13:30～	5,000円	15名	11/11(水)～

秋の洋ラン展

11/10（火）～11/15（日）

最終日16時まで



今年で45回目となる洋ラン展！！
豊平公園緑のセンター1階アトリウムはコチョウラン、カトレア、デンドロビウムなど豪華で鮮やかな洋ランの色と香りに満たされます。期間中は洋ランの販売もあります。
また、11月14日（土）の園芸教室「洋ランの冬の管理」（13：30～ 受講料500円 先着20名）は、ただいま申込受付中です。
ぜひ豊平公園緑のセンターで洋ランの魅力をご堪能ください。

シクラメン展

11/25（水）～11/29（日）



あちらこちらでシクラメンが見られる季節となりました。
シクラメンは球根が丸いことからギリシャ語で「丸い、回転する」を意味する「Cycle」が語源とされています。
色とりどりのシクラメンの展示販売を予定しています。
ぜひお気に入りの一鉢を探してみてください。
また、11月21日（土）には園芸教室「シクラメン他冬の鉢花の室内管理」（13：30～ 受講料500円 申込受付11/11（水）より 先着20名）を開催いたします。
みなさまのお越しをお待ちしております。